

JQA

見えない価値を
見える証に

西展示棟
W2-66

自動車の安全性と品質の向上を支援する
JQAの適合性評価サービス

車載機器のEMC試験・計測器の校正・各種認証取得はJQAにご相談ください

一般財団法人 日本品質保証機構

https://www.jqa.jp

1月23日(金)

『新製品・新技術セミナー』に登壇
@東京ビッグサイト西展示棟1階会場③

●12:00～12:30●
『自動車産業における「測定」の
最新動向と適切な計測管理』

●15:00～15:30●
『自動車機器EMC試験規格の
最新動向』

※会期中、JQAブースにて各種セミナーも開催!

新型インパルス巻線試験機 DWIT-05

ECG-KOKUSAI

特徴

●12bit分解能×300MHzサンプリングによる高精細な波形取得
●データベース管理で検査工程を“見える化”
●豊富な追加オプション(PD(部分放電)検出アンテナ/3ch+GND
内蔵切換回路/4端子測定回路/印加工エネルギー増設/電流測定)
●前シリーズより向上した操作性、USBメモリ等への各種データ
保存機能

拡大表示機能

PDIV test 画面

Test Result モード

株式会社 電子制御国際

〒205-0023 東京都羽村市神明台3-33-6
http://www.ecginc.co.jp E-mail:info@ecginc.co.jp

オートモーティブ
ワールド

あす開幕 東京ビッグサイト

電子化・電動化、自動運転、軽量化など、クルマの先端テーマの最新技術が一堂に展示されるのが「オートモーティブワールド2026」。一方、DX、自動化、人手不足対策、安全、脱炭素などのテーマを網羅したモノづくりに関する展示会が「Factory Innovation Week 2026」だ。会期は21日から23日までの3日間。主催はRX Japan。会場は東京・有明の東京ビッグサイト西展示棟と南展示棟で、開場時間は10時から17時まで。入場料は無料だが、同展ホームページから事前の来場者登録が必要。

クルマの最先端技術 集結

「オートモーティブワールド2026」は、「国際ステナブル技術展」の7展示会が構成される。自動車産業はCASE技術展「コネクテッド・カーEXPO」「自動運転、シェアリング、電動化」という大きな潮流の中にあり、世界中でカーボンニュートラル(温室効果ガス排出量実質ゼロ、CN)への取り組みやソフトウェア定義車両(SDV)の開発が進む。オートモーティブワールドはそうした最新技術とトレンドを網羅し、先端技術が幅広く展示される。

「国際カーエレクトロニクス技術展」は半導体、電子部品、テスト技術などカーエレクトロニクスの進化を支える技術を紹介する。「EV・HV・FCV技術展」は電動化の中核技術となるモーター、インバーター、リチウムイオン電池などに関する製品・技術が集まる。「コネクテッド・カーEXPO」はIoTソリューションやセキュリティソリューション、ビッグデータ解析技術などの技術が紹介される。「自動車部品と加工EXPO」は自動車部品の切削・研削加工、プレス加工、レーザー加工などに関する製品・技術が展示される。「自動運転EXPO」は自動運転と先進運転支援システム(ADAS)に必要なセンサー、レーダー、AI(人工知能)などが展示され、最新の自動運転技術と比較検討できる。「SDV EXPO」はソフトウェア開発ツールやサイバーセキュリティなど重載ソフトに関するソリューションが紹介される。「クルマのサステナブル技術展」は再生プラスチックやバイオプラスチックなどのサステナブル材料、電池リサイクルなどのリサイクルソリューションが集結する。

国際カーエレクトロニクス技術展

日本品質保証機構

1957年に設立された日本品質保証機構(JQA)は、社会経済の基盤となる電気製品の安全試験、計測器の校正、マネジメントシステム認証やJISマーク認証などを全国18の拠点で提供する第三者適合性評価機関。事業を通じて、安全・安心で豊かな社会づくりに貢献している。

EV・HV・FCVをはじめ、自動車産業の技術発展により多様化する試験ニーズに応えるため、東京、名古屋、大阪の試験所が連携した「JQオートモーティブEMCラボプラットフォームネットワーク」を構築。各拠点の利点を最大限に生かし、顧客の利便性を高めるシームレスな試験ソリューションを提供している。

電子制御国際

電子制御国際はインパルス巻線試験機DWITシリーズに代表される、各種インパルス巻線試験機を国内外で累計1万台以上販売している。コイル・モーター業界での試験・評価分野で高い評価を得ているという。

展示会では新製品のインパルス試験機「DWIT-05」を披露する。12bit分解能300MHzサンプリングにより、高精細な波形が取得できる。試験条件や試験結果を保存するためのデータベース機能を搭載しており、品質管理の信頼性向上にも寄与する。「WTS-05」はコイルに必須の4試験を実施できる総合試験機。1台で10チャンネルの回路切り替えができ、検査工程の効率化と省スペース化を実現する。

EV・HV・FCV技術展

スマート工場EXPO

アズビルは「人×AIで、自律する工場」をテーマに、人とAIが協調するプラント・工場での自律運用システムを展示する。自律化システムは、同社が長年培ってきたオートメーション技術とAIが融合し、生産、品質、設備などの管理業務を制御系へ変革する。従来の自動化を超える生産性とサステナブルな運用で従事する人のウェルビーイング(心身の幸福)向上に貢献していく。

このビジョンを具現化する新製品「AI最適生産計画立案システムVIRTUAL PLANNER PIP」、品質ナビゲーション、状態基準保全(CBM)、予兆検知などのAI製品を展示。自律運用する工場を体感できる場を提供する。

Factory Innovation Week

AI・DX・脱炭素焦点

「Factory Innovation Week 2026」は、「スマート工場EXPO」「ロボデックス」「製造業カーボンニュートラル展」「グリーンファクトリーEXPO」「製造業 人手不足対策EXPO」の4展示会を構成される。「スマート工場EXPO」はAIソリューション、ファクトリーオートメーション(FA)などの製品や技術、サービスが展示され、AI(人工知能)との融合による自律化などが提案される。「ロボデックス」では工場や物流現場で自動化、効率化を実現するためのロボットや自動搬送装置(AGV)などが紹介される。また、「製造業カーボンニュートラル展」ではCN実現に向けた取り組みが進む生産現場でのエネルギー見える化や再エネ、省エネ機器などが披露される。今回の「Factory Innovation Week」で初開催となるのが製造業の人手不足対策に焦点を当てた「製造業 人手不足対策EXPO」。日本は1990年代から生産年齢人口が減少し、高齢化、人口増加する「人口オーナス期」に突入している。製造業では特に働き手不足が深刻となっており、自動化、省人化のためのソリューションやAIの導入は急務となっている。

将来の製造現場に關わっていく人材の採用や育成、管理体制の構築にも力を入れる必要がある中、会場では製品や技術、サービスの紹介に加え、セミナーで人手不足対策の事例紹介が行われる。21日12時半からは佐原製作所と一菱金属が「製造業の人手不足をデジタルでどのように解消するか」と題した講演を行う。22日12時半からは日テックのハビネスプラットフォームとパナソニックコネクが生成AIの活用に関する事例を紹介する。セミナーへの参加は同展ホームページから事前登録が必要。

業界トレンド “まとめ読み”

Biz-Nova

ビスノヴァ

日刊工業新聞社が運営するBtoB向け情報サイト

モノづくりを中心にコア、ニッチな分野まで幅広く網羅

ポイント1 業種や地域にフォーカスした最新動向と関連製品の情報収集に役立ちます

ポイント2 今まで紙面でしか読めなかった日刊工業新聞の特集をWEBで無料で閲覧できます

まずははめてみる Biz-Nova https://biznova.nikkan.co.jp

くお問合せ先 日刊工業新聞社 「Biz-Nova」事務局 TEL:03-5644-7096 (受付時間:平日10:00~17:00) Mail:biznova@nikkan.tech

azbil

人を中心としたオートメーション

あすみる、アズビル。

計測・制御技術を通して、ビル・工場・住宅の安心・快適の実現と地球環境に貢献します

アズビル株式会社